

《ご招待者：来賓》

加須市長 代理 生涯学習部長 江原 千裕
 (公財)埼玉県体育協会専務理事 河本 弘
 埼玉県県民生活部スポーツ振興課 松尾亜理紗
 (株)ベルコンピュータシステム代表 高尾 周太郎
 無名山塾・主宰 岩崎 元郎

埼玉県山岳連盟 参与

名誉会長 田中 文男 浦和山岳会
 顧問 森下 健七郎 MAS
 参与 大野 好司 高体連登山専門部長
 参与 亀田 泰二 川口市登山同好会
 参与 斎藤 勝男 元蔵ハイキングクラブ
 参与 恵 秀彦 グループ・ド・アミ
 参与 風間 進 元グループ・ド・アミ

埼玉県山岳連盟 関係者 (加盟団体名簿順)

理事	山口 新二	UD・A・C
理事	小茂田 利孝	高体連登山専門部
	江原 政宣	大宮アルパインクラブ
評議員	島田 富男	深谷山岳会
	相馬 英夫	深谷山岳会
評議員	長谷川 茂	熊谷山岳会
理事	計良寿彦	東部登高会
評議員	井上 昇	MACC
評議員	富士田 始	TEAM山あるき
	田本 眞砂子	TEAM山あるき
	高橋 弘子	TEMA山あるき
理事	鈴木 百合子	無名山塾
	松本 善行	無名山塾
評議員	深澤 賢一	川越山の会・五十雀
理事	高橋 正雄	川越山の会・五十雀
理事	折原 将斗	浦和溪稜山岳会
理事	秋元 淑子	彩・岳悠会

埼玉県山岳連盟 役員

会長	石倉 昭一	大宮アルパインクラブ
副会長	相澤 重夫	川口市登山同好会
副会長(事務長)	加藤 富之	深谷山岳会
監事	秋庭 栄	あゆむ山の会
監事	岩武 成秋	UD・A・C
理事長	天野 賢一	遠峰山岳会
副理事長(漣対長)	瀬藤 武	グループ・ド・アミ
副理事長(競技長)	横内 鉄郎	川越山岳会
指導委員長	野村 善弥	あゆむ山の会
選手強化委員長	内海 信	高体連登山専門部
海外登山委員長	山際 登志夫	彩・岳悠会
広報委員長	岩井田 正昭	川越山の会・五十雀
個人会員委員長	笠原 数浩	彩・岳悠会
事務局	塩谷 壽子	大宮山岳会

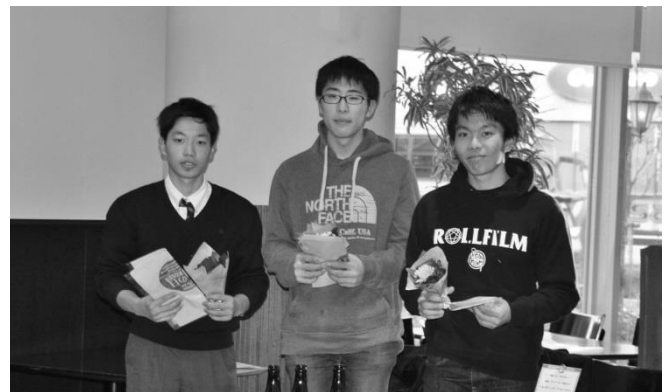


福井国体選手、監督、スタッフの皆さん

前列左 伊藤スタッフ、神田トレーナー、坂井、加島の各選手、小茂田監督、後列左 内海監督、百合草、鶴、波田、本間の各選手、横内監督、天野総監督



「参与会」挨拶の石倉会長 於：大宮中部公民館

百合草選手 鶴選手 波田選手の皆さん
大活躍の感動有難うございました！今年も良き年を祈って
田中名誉会長の音頭で乾杯！

各委員会 報告

I【指導・遭対合同委員会】野村指導委員長

登攀技術講習会・指導員研修会 報告

h30/10/21 東吾野 『平戸の岩場』



指導員養成講習会 実技

参加者は養成講習会 15 名、登攀講習会 16 名、スタッフ 8 名、今回は指導員養成講習会と合同での開催となり当日平戸の岩場は 埼玉岳連で貸切の状況でした。

天候にも恵まれ、参加者はそれぞれの受講班講師の元、密度の濃い内容を受講いたしました。

ゲレンデでも安全第一、事故の無いようスタッフ含め全員ヘルメット着用で講習会・研修会参加者は重り※を落としての制動確保に取り組みました。養成講習会では指導法も半分の点数を占めており制動技術をいかに指導するか緊張が隠せない状況で取り組んでおりました。

いかに基本に忠実に初心者理解できるよう指導できることが重要なので日頃実践しているかが問われたと思います。 記 野村 善弥

※編集注 (制動確保練習用トラックヤ・50kg 有り)

~~~~~

## II【競技委員会】

## 横内競技委員長

コバトン・クライミングカップ 2018 リザルト ( ) 総合順位

h30/11/25 加須市民体育館 クライミングウォール

|      |                                               |
|------|-----------------------------------------------|
| キッズ  | 1 位(1 位) 中島颯杜、2 位(4 位) 秀間鈴弥<br>3 位(5 位) 長森 晴  |
| ビギナー | 1 位(1 位) 遠藤功士、2 位(5 位) 猪鼻未来<br>3 位(6 位) 村山天斗  |
| ジュニア | 1 位(6 位) 山田航大、2 位(7 位) 武石初音<br>3 位(12 位) 池原悠太 |
| ミドル  | 1 位(6 位) 石井幸宣、2 位(9 位) 犬竹那月<br>3 位(10 位) 猪鼻碧人 |

## III【選手強化委員会】 内海選手強化委員長

## 第 5 回関東小中学生クライミング選手権大会:競技結果

h30/11/11 栃木県壬生町総合運動公園体育館

埼玉県からは、ボルダリング競技 13 名参加(ジュニアドリームスリートから選出)、2022 年栃木国体の山岳競技開催地・壬生町総合運動公園体育館で行われました。参加選手 94 名、各種別予選 8 課題 40 分(5 トライ)、決勝 2 課題 4 分、立冬を過ぎましたが、秋晴れの中にぎやかに開催され、各都県選手予選課題に挑み完登を目指しますが、後半になると厳しい課題で差がつき始めました。僅かの差で決勝に進めず、悔しい思いをした選手、次回埼玉県開催でリベンジをして欲しいと思いました。

決勝に進んだ中学生は計 4 名、小池選手は 2 連覇を達成しましたが、犬竹・野部選手は実力を発揮できず、表彰台を逃しました、田中選手ですが、決勝時に体が伸びた状態で着地し、左膝を負傷してしまいました。すぐにドクター・トレーンに見て頂き氷で冷やし、テーピングで固定しました。傷害保険に加入しているため、この後保険会社と交渉します。小学生で決勝に進んだ山田選手、初参加で頑張りました、来年が楽しみです。

## 競技結果

中学生男子: 犬竹 那月 6 位、猪鼻 碧人 予選 11 位  
神原 優斗 予選 15 位 (26 名参加)

中学生女子: 小池 はな 1 位、野部 七海 5 位、田中 有紗 予選 5 位 通過・決勝時負傷棄権、横田 呼春・大澤 苺花・予選同率 11 位 (23 名参加)

小学生男子: 山田 航大 4 位、池原 悠太、予選 17 位 (28 名参加)

小学生女子: 武石 初音、予選 7 位、金子 千尋 予選 12 位、松浦 玲音 予選 15 位 (17 名参加)

~~~~~

IV【海外登山委員会】

山際海外登山委員長

h30/11/13 主催:海外登山委員会

花谷泰広講演会報告

さいたま市のリクティエにて 18:30 - 21:00 で花谷さんの講演会を行いました。「未踏の頂をめざして」という演題でお願いし、参加者は 51 名でした。

花谷さんの講演は、まず花谷さんの山岳履歴の紹介から始まりました。信州大学の山岳部に入部し、二十歳の時の 1996 年にネパール・ヒマラのラナチュル峰(7035m)を初登頂、以来足繁くヒマラヤ等の海外登山を実践している。特に思い出に残るのは、2006 年インド・ヒマラヤ・メル中央峰(通称シャクスフィン)ではメル・未踏のルートを馬目さんと挑戦して花谷さんの失敗で敗退後、2 度目の挑戦を馬目さんから誘われて感激し、2 度目に登頂を果たしたことが今の山岳が仆とし

てのベースのなっているそうです。

2009年のネジユン(7140m)西壁初登攀、同ピーク第2登。第21回ピロートル賞、第8回ピロートルアジア賞を受賞した、2012年のキャナル峰(6770m)南ピーク初登攀。2015年からは若手登山家養成プロジェクト「ヒマヤキャンプ」を開始し、次世代の登山者たちとヒマヤ登山を行っています。現在は八ヶ岳のふもと、山梨県北杜市をベースに活動中で公益社団法人日本山岳ガイド協会認定山岳ガイドステージⅡ。日本プロガイド協会所属。信州大学学士山岳会所属。

現在は株式会社ファーストアセント代表取締役で甲斐駒ヶ岳七丈小屋経営しています。記 山際 登志夫



花谷泰広氏 講演の様子

V【自然保護委員会】 増田自然保護委員長

平成30年度自然保護委員総会

第42回山岳自然保護の集中央大会報告

h30/11/23-25 於)小川げんきプラザ

参加22都道府県75名(スタッフ含む)でを無事終える事が出来ました。開式前、各県委員長会議では総会開催地の決定や活動の低調な地域への挺入れ策など意見交換進言を受ける。

開式冒頭、主催者 JMSCA 亀山副会長の歓迎の挨拶と東京五輪や各種課題に向け、一層の協力要請が表明されました。松隈自然保護委員長挨拶、来賓の激励の言葉を頂き、閉式とする。引き続き委員会活動報告・質疑応答を終える。地元秩父山岳連盟会長清水武司氏の武甲山の下、生活信仰や固有植物などの講演を受ける。特に地元山岳人として、削り剥がされ、其の景観を変えていく武甲山の現状を熱く語られた。

2各県報告は、例年より各々持ち時間を延ばした為、少々タイムオーバーになる状況と、岳連の皆様協力に戴きました徳島風力発電反対署名運動には、建設予定地のビデオが紹介され、改めて豊かな自然環境の破壊に繋がる事を再認識しました。午後の部はテーマ『未来につなごう みどり豊かな山の自然』を課題としたパネル討議セッションに。次世代育成・山岳トレ・環境保全(登山道について)・稀少動植物保護と4題と

した為、時間不足で参加の皆様には現状の共通認識と課題を周知して頂くにとどまりました。パネラー担当として、発言時間・質疑応答・取り纏めなど進行に関して大いに貴重な機会を頂きました。

3日目エキスカージンとして、参加希望者に武甲登山と大霧山セッパされ、武甲担当として、34名生川～武甲山頂登山を実施。不動の滝では皆さんの協力を頂き、大量のペットボトルを山頂トレ貯水槽に歩荷して頂きました。秩父山岳連盟Kさんの案内で、歩行中に武甲の自然、固有植物や秩父夜祭りなどの説明を受ける。特に東日本震災後、武甲の石灰岩採掘量が増えた(良質な石灰岩は除染作業に)との案内には、清水氏講演内容にもあった武甲山の更なる碎石による現状の武甲の姿変貌も危惧されました。

VI【個人会員委員会】

笠原個人会員委員長



講師・スタッフと講習生

h30/11/18 「東吾野・阿寺の岩場」において

個人会員委員会主催の初級登攀技術講習会を開催。岳連から瀬藤遼対委員長の他、風間個人会員副委員長が講師。総括リーダーを笠原委員長として行った。講習にあたり笠原委員長より安全対策上、着用装備点検、注意事項を詳しく説明行い初級班、中級班と班分け。全員でロープ結束を入念に再確認、フィグアイトノット、クローブヒッチ、ムンターヒッチなどを練習する。

初級班は瀬藤、笠原両委員長が指導にあたり、中級班は風間講師が技術的観点から実技「うちわ舞・5.9+」をリート登攀しながらルート説明する。昼食を挟んでほぼ全員が、トップロープで2-3本クライミングを体験。09:00-15:30 初級講習会は予定通り終了し16:00過ぎ、虎秀・大野宅にて解散。10名

文責 個人会員委員 岩井田

VII【トレラン委員会】

奥宮トレラン委員長

第4回 FTR100&FT50 大会総括

大きな事故もなく無事に終了することができました。大会に関わっていただいた全ての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。心の底から感謝の気持ちを申し上げます。本当に、ありがとうございます。

した。全国そして海外から1300名を超えるエントリーがありました。スタッフ一同、感謝とともに気持ちが引き締まる思いで大会に向けて準備を進めてまいりました。週間天気予報を見ると、大会期間中は曇り・雨という予報になっており心配がつきませんでした。しかし、予報が外れ大会期間中を通じて天候に恵まれ、スタート時には満点の星空が広がり、日中は稜線上から素晴らしい景色を秋の紅葉とともに参加した選手の皆様に楽しんでいただくことができました。秩父・奥武蔵エリアの大自然の魅力を伝えることができことを大変嬉しく思います。

また、昨年の事故の経験から新たに複数の安全対策を実行しました。特にコース上2箇所で行ったメディカルチェックでは具体的な基準を定めて選手の状態チェックを実施しました。これは事故の未然防止にも繋がると考えています。そして、新しい通信方式であるLPWAを活用した現在地把握システムの試験運用も行いました。今年はまだ試験段階でしたが将来的には全ての選手、スタッフがネットワークで繋がり、安全な大会運用に活用したいと考えています。

今回はそれを実現するための大きな前進となりました。大会は無事に終了しましたが、多くの反省点があります。次回大会に向けて、今から準備を始め、運営方法を根本的に改め、大会理念にもなっている「関係する全ての人、地域が楽しめる大会」を実現しなければなりません。来年はいよいよ節目でもある第5回大会です。素晴らしい大会になるようスタッフ一同全力で準備すすめる所存です。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

2019年11月25日

大会実行委員長 FunTrail8 奥宮俊祐



大会参加選手・スタッフの皆さん

Ⅷ【カレンダー担当】 伊藤カンダ-担当

カレンダー写真選考に関する講評

選考審査員 新井 靖雄

今年も「山岳連盟カレンダー」の審査を担当させていただきましたが、年々、投稿される作品が良くなっ

ていることに驚かされます。自分が撮った一つの作品がカレンダーの1頁になるということは撮影者にとってとても大きな動機になることと思います。投稿して下さる会員の皆さんの中に、そのような意欲が見られました。登山をするということは絶好の(絶景の)のスクリーンをいつも前にしているということです。良い写真作品と作るということは、そのスクリーンを切り取る作業ですが、単に切り取るだけではなく、そこで構図を考えなければなりません。これが大切な作業で、構図が写真の一番大切な基本になります。これはプロの作品や写真展で見ても勉強して習得されるのが良いと思います。講演会で要旨を伝えるように、写真展で構図を伝えるのも良いと思います。特に注意していただきたいのが「遠景、中景、近景」ということです。この3つの要素に注意していただくのが良いと思います。

たくさん撮って、撮り続けていくうちに少しずつ上達すると思います。今後も精進を続けられ、また素晴らしい作品を投稿してくださいことを期待いたします。

平成31年1月理事会報告

1月9日(水)午後7時30分～ 北本市中央公民館

0 出席

田中名誉会長、石倉会長、相澤、村岡、加藤各副会長、天野理事長、土屋、横内各副理事長、野村(指導)、内海(強化)、増田(自然)、山際(海外)、岩井田(広報)、笠原(個人)各委員長、山口(UD)、小高(アルム)、小久保(壁稜)、長谷川(熊谷)、計良(東部)、詫摩(エコー)、平沼(小川)、高岡(高体連)、道浦(SCC)、富士田(山あるき)、鈴木(山塾)、岩田(岳稜)、高橋(五十雀)、関(山旅)、浅井(TM)、折原(溪稜)、伊藤(防医大)、大山(比企)、秋元(彩岳)、早川(川越)、沼田(草加)、加藤事務局長 計35名

1 会長挨拶(石倉会長)

2 挨拶(田中名誉会長)

12/15の浦和山岳会・佐藤隆氏の事故につきましては、皆さんに大変ご心配をおかけしました。氏は電機大出身の会員で、この春から電機大OB会の会長候補でした。このような事態になり大変残念です。またSNS等での誹謗中傷は大変なもので慚愧に堪えませんでした。詳細は、追って連絡いたします。

3 報告

11/25 コバトリゾートクラインカップ 2018(県体) 加須市
12/15 山梨岳連創立70周年記念式典・祝賀会
田中名誉会長、石倉会長、天野理事長参加

12/22-23 第9回全国高等学校選抜クライミング選手権大会 加須市

4 協議

- (1) 埼玉県山岳連盟の名称変更・法人化について
12/19: 第1回検討委員会 シノ大宮(石倉他7)
①名称変更について、②法人化目標について、③アンケートの実施について、④2/13 常任理事会を「第7回拡大理事会(臨時)」
1/7: 第2回検討委員会 シノ大宮(石倉他7)
①アンケート集計について、②1/9の理事会で理事意見について、③定款や機関設計について、④名称変更・法人化「意義の明文化」について
2/4: 第3回検討委員会 シノ大宮
- (2) 1/20・日 県岳連参与会・新春懇談会について
参与会 13:30~15:30 会場: 大宮中部公民館
新春懇談会 16:00~18:00 会場: 大宮 レストランスクエア
- (3) 2/2-3 関東地区山岳連盟総会について
平成31年2/2日~3 いこいの村潤沼 鉢田市・
参加者: 田中名誉会長、石倉会長、相澤副会長、天野理事長、瀬藤、土屋各副理事長、野村、内海、増田、高岡、岩井田各委員長、加藤事務局長 12名
- (4) 平成30年度「埼玉県体育賞」受賞候補者の推薦・体育功労賞の候補者: 石倉昭一会長を推薦・優秀選手賞の候補者: 波田悠生、本間大晴、小池はな、曾我綾乃の4人を推薦
- (5) 平成31年度 田中名誉会長賞の推薦について
・推薦者: ※推薦を御願います。
- (6) 平成32年度役員改選について
- (7) 県岳連のTシャツなどの作成販売について
- (8) JMSCA 次期理事候補者の推薦について
- (9) 「安全登山講習会・講演会」の企画応募について
- (10) 「2019カレンダー」販売状況について
- (11) 後援申請について 承認
2/24・日・日本山岳会埼玉支部 安全登山講習会
テーマ: 『山のファーストエイト』入門・講師: 恵 秀彦 氏

(12) その他

- ①安全登山指導者研修会連絡会議
1/13(日)アルカディア市ヶ谷・参加者: 天野理事長、野村、瀬藤各委員長
- ②東京、栃木、山梨岳連記念祝賀会、第9回高校生C大会に塩谷理事より御酒の寄贈がありました。

5 各部からの報告等

- ①指導委員会 <野村指導委員長>
12/22-23 平成30年度指導員養成講習会(第3回講習会・雪上2日) 谷川岳
2/9-10 積雪期登山講習会・指導員研修会 那須
3/2-3 積雪期緊急避難講習会・研修会 谷川

②競技委員会

<横内競技委員長>

- 12/16 JMSCA 平成30年度選手・スタッフ合同ミーティング 10時~ 昭和女子大学オーロラホール(8号館)
12/22-23 第9回全国高等学校選抜クライミング選手権大会 加須
12/24-26 ルートセッター研修会・検定会加須
1/19-20 JMSCA SC部ブロック別研修会・関東・千葉参加者(運営)横内鉄郎(認定)岡田武幸、坂田康明、杉野芳雄、伊藤良、鈴木宏昭(更新)早川啓、前田邦彰、片田多加世、道浦陽司、布村英夫、小澤信太、浅井輝宗
3/2-3 リート・シヤパンカップ 印西
3/23-25 ユース・リート大会 印西

③選手強化委員会

<内海選手強化委員長>

- 12/22-23 第9回全国高等学校選抜クライミング選手権大会 加須
1/20, 27 プラチキッズ・スポーツクライミング体験会 川越

④遭難対策委員会

<瀬藤遭対委員長>

- 12/8-9 平成30年度冬山遭難防止研修・講習会県活
2/9-10 積雪期登山講習会・指導員研修会 那須
3/2-3 積雪期緊急避難講習会・研修会 谷川

⑤自然保護委員会

<増田自然保護委員長>

- 1/27 JMSCA 自然保護指導員研修会 オリエン
3/30 自然保護委員会総会 北浦和カルタスホール
棒・峰白岩沢・未確認情報の件について 自然保護委員会で県環境課に確認中(増田)

⑥海外登山委員会

<山際海外登山委員長>

- 12/15 栃木県岳連海外登山委員会主催「2018海外登山の集い」※山際、加藤参加 宇都宮
8/7-8/20 2019ヒマラヤ登山隊 山城山名: インド・ラダック地方 カン・ヤツェII 6,247m・主催: 海外登山委員会
参加予定 計11名
12/13 顔合わせ・打ち合わせ会 年明け後、雪上訓練等定期的に開催予定。
1/8 例会 大宮
1/26 「海外登山追悼の会」(小澤氏13回忌他) さいたま市民会館おおみや第4集会室
2/24 ヒマラヤ登山隊・雪上合同訓練 日白山
3/30 ヒマラヤ登山隊・打合せ会議 大宮
6/下 ヒマラヤ登山隊・高所訓練 富士山

⑦ジュニア委員会

<高岡ジュニア委員長>

- 1/18-19 積雪期登山技術研修会(高体連専門部)
2/9-11 埼玉県高体連登山専門部新人大大会及び指導者講習会 生徒140名 安達太良山系(鬼面山)
2/16 JMSCA 平成30年度登山普及情報交換会

BumB ぶんぶく東京スポーツ文化館>
3/29-31 JMSCA みんな集まれ!なすかし雪遊び隊

⑧広報委員会 <岩井田広報委員長>
1/31 「岳連報」第63号 発行8ページ
新春懇談会、各委員会報告、理事会報告

⑨企画委員会 <村岡企画委員長>

⑩個人会員委員会<笠原個人会員委員長>
1/23 個人会員講習例会 雪山技術
(講師:笠原、風間委員) シノ大宮
2/24 個人会員委員会 講習山行:初級雪山&山スキー
実技講習(講師:笠原、石倉委員) 日白山
3/6 個人会員講習例会 気象 シノ大宮
3/28 個人会員委員会総会 シノ大宮
海外登山委員会「2019 ヒマラヤ登山隊」に2名参加

⑪事務局<加藤事務局長>
山梨県条例登山計画書提出努力義務化
12/18・火 18~20時 日本スポーツ協会・研修会
第一東京弁護士会・講堂
1/19 JAC 埼玉支部「安全登山講演会」埼玉会館
2/9-11 平成30年度積雪期登山基礎講習会(高等学校の登山部等で指導する教職員対象)国立登山

研修所

2/23・土 13:30~16:00 第9回日本山岳遺産サミット 神田神保町インプレスグループ セミナールーム

6 閉会挨拶(相澤副会長) 本日は、皆さんの意見が沢山聞けて良かった、ありがとうございました。

.....

訃報

佐藤 隆氏 74歳 浦和山岳会所属

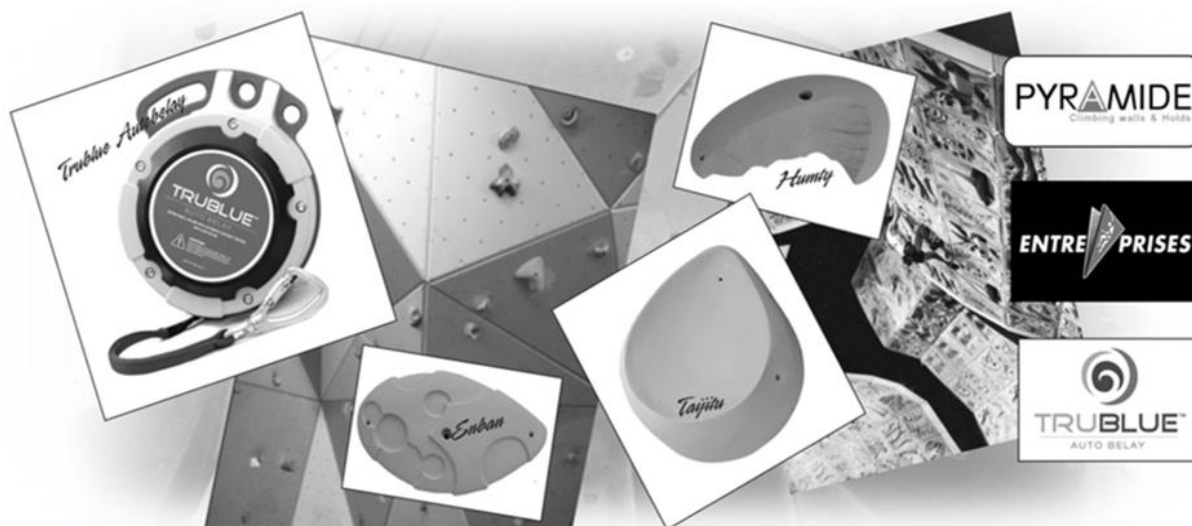
平成30年12月15日八ヶ岳連峰根石岳付近において悪天候により遭難死、19日坂戸市内斎場に於いて近親者による葬儀が営まれました。岳連から田中名誉会長、石倉会長、岩井田広報委員長が参列。

謹んで哀悼の意を表しご冥福お祈りします
埼玉県山岳連盟

【編集後書】

間もなく平成から新しい元号に替わろうとしている。平成31年から次の元号は何になるのか?

県岳連も法人化に向け、議論を重ね新しい組織を目指して動き出す。次に新しくなるであろう組織名と機構が気になるところ。 広報 mi



取り扱い製品

- ・クライミングウォール
ピラミッド、アントレプリーズ、当社オリジナル
- ・ホールド
アントレプリーズ、草ホールド、Wall Street
- ・オートベレイシステム
TRUBLUE

クライミングウォールの設計、施工と
ホールドなどの関連製品の販売をおこなう会社です。

ピラミッドジャパン株式会社

〒357-0062 埼玉県飯能市永田387-5

Tel:042-980-5650 Fax:042-971-6780

URL: <http://pyramide-japan.com/>

Mail: pj-info@pyramide-japan.com

ホールドのご用命は<http://hold-market.com/>へ

ALP K2®



自 然の中で過ごすのに気持ちのいい季節です。大勢の山仲間との山行でも、あるいは単独行の山行でも、大切なのは健康管理です。あなたの動脈血の酸素量が今どの位なのか、脈拍数はどの位なのか、正確な機械で測定してみてください。

医療機関等で使用されているパルスオキシメーターを、特価でご提供致します。ぜひご利用下さい。

季 節の変わり目です。親しい方にデジタル血圧計を差し上げたいかがでしょう。お誕生日、結婚式、もちろんご自身にも。用途に応じて対応させていただきます。山行に持参できる小型タイプもございます。血圧は健康のバロメーターのひとつです。どうぞお問い合わせ下さい。



登 山行動中や野外活動中に本格的な聴診器はいかがでしょう。樹の幹に聴診器を当ててみると、色々な音が聴こえてきます。葉の擦れる音、遠くの小川の音。虫の声、鳥の声。樹はまるでパラボラアンテナのように色々な音を集めます。ご家族のペットの心音を聴いてみるのもいいでしょう。人間とは違った鼓動に新しい発見があるでしょう。ぜひトライしてみてください。

埼玉県山岳連盟の活動を応援している田中産業株式会社は1969年の創立。世界80数カ国に製品を輸出しております。



BO - 600

登山者必携
パルスオキシメーター



- パルスオキシメーター
- 歩数計
- デジタル血圧計
- 聴診器
- その他医療器全般

ALP K2® 田中産業株式会社

本社

113-0033 東京都文京区本郷3-16-3

TEL 03-3814-7181 FAX 03-3814-7177

Eメール alpk2@joy.hi-ho.ne.jp

弊社はISO13485を
取得致しております